

現状

■耳川、小丸川、一ツ瀬川、3つの河川の源流を持つ本村にとって、河川環境の整備も含めた、水産業の振興は重要です。これまで以下の取り組みをしてきました。

【河川環境の整備に関する取組】

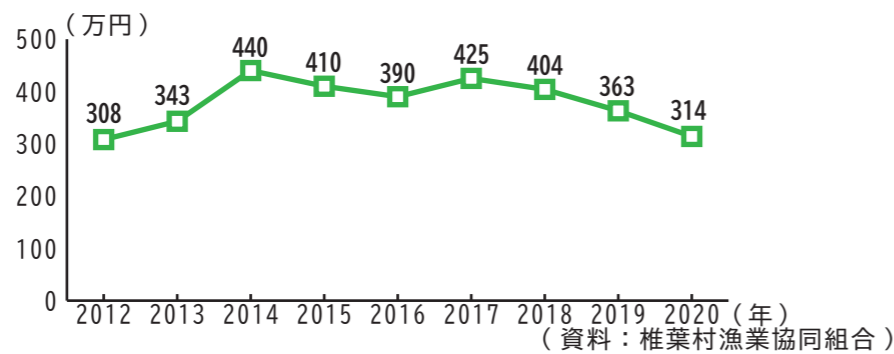
- ①濁水流出防止
- ②堆積土砂の除去
- ③護岸工事
- ④河床上昇対策
- ⑤魚道工事

【魚族の管理に関する取組】

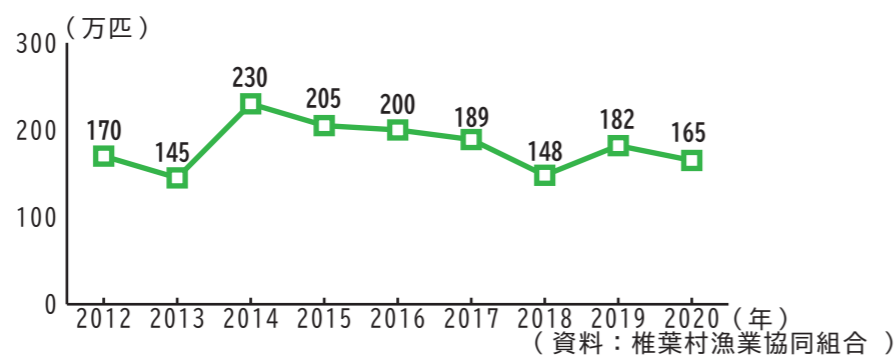
- ①稚魚育成と放流
- ②遊魚の推進
- ③その他の取組

- 【河川環境の整備に関する取組】①～④に関しては建設課から宮崎県への要望活動を実施しています。
- 【河川環境の整備に関する取組】⑤に関しては農林振興課から九州電力(株)への要望活動の結果、過年度に堰堤の魚道工事が行われました。
- 【魚族の管理に関する取組】に関しては、椎葉村漁業協同組合(以下、組合)が主体的に取り組んでおり、農林振興課は組合活動を支援しています。

【遊魚券販売高の推移】



【放流実績の推移(稚魚)】



■その他、ヤマメの甘露煮やキャビア等の水産加工業を営む事業者も出てきており、新たな産業としてメディアからの注目が高まっています。

目標

本村に生息する全ての魚は、生態系の重要な構成要素として、また、水産資源・観光資源として重要です。水産・水産加工業*を新たに捉え直し、循環型社会の実現に貢献する村の産業として推進していきます。
*水産加工業については分野「7. 商工業の振興」において支援していくものとする。

参考指標*	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)	備考
遊魚券販売高 / 年	314万円	440万円	*県による増殖指示や漁業補償に基づくものであるため目標数値ではなく現状把握のための参考指標として扱う。
放流稚魚数(ヤマメ)	165.5万匹	170.0万匹	

➡ 関連する個別計画 なし

行動指針

- 保全に関する取り組みを推進します。
 - ・河川環境の整備のため、農林振興課と建設課から、宮崎県や九州電力(株)等に対して引き続き要望活動を行います。
 - ・農林振興課において、組合への支援を通して水産資源としての魚の放流実績数が維持できるように引き続き支援します。
- 産業振興に関する取り組みを推進します。
 - ・観光振興の観点から、電子チケットによる遊魚券の販売に取り組みます。
 - ・養殖事業者や水産加工事業者への支援について農林振興課と地域振興課で情報共有を密に行い、適切な支援策の検討を進めます。
- 施策の体系の作成は省略します。

チーム

